

# OPINION オピニオン・スライス SLICE

サントリーホールディングス株式会社 副社長  
関西経済同友会 代表幹事

## 鳥井信吾 さん

### —関西経済復権へ向けてどのような提言を

「もの造り」の再生です。「もの造り」の復権復活が重要です。

サイエンス・テクノロジーは言うにおよばず、デザインや機能性がフィットしない「もの造り」はできない…と。

物理学、化学、工学、医学といった分野だけでなくアート、デザイナーという芸術系の人も合わさって、人が生きていく上での楽しさ、満足度を上げる。さらにそれらを結びつけるプロデューサーの役割が大切ですね。

映画製作では、役者、脚本家、監督、さらにはお世話係のプロデューサーなど役割分担が明確です。経済活動も同じではないでしょうか。

日本経済の発展、高度経済成長、その後の失われた20年でそれらの役割と機

能は、分離分断されてバラバラになってしまっているのではないかと

元々大阪は中小企業の町。混沌の中から価値を造って起業するエネルギーに満ちていた。

アップルのスティーブ・ジョブズの「Stay hungry, Stay foolish」という言葉があります。彼はいろいろ回り道をしてきたが「無駄なことは何一つなかった。」と言っている。ところが今の日本では、回り道が許されない世界になっている。せせこましく決めつけるようになっていないか。若い人には回り道できる支援・余裕が必要です。

また、芸大を出た音楽家や美術家に仕事がないとよく聞く。会社も余裕がなく彼らを支えられていない。回り道をさせてあげる余裕がない。経済人と芸術系の人達の接点がない。是非接点を増やした

いです。

### —具体的な方策は

経済同友会は政策提言団体です。今、具体的な提言内容を検討してもらっています。

関西財界セミナーという会議がありますが、前は東西の学生約30名を招いて経済人とディスカッションをしました。

若い人にいきなりでは話にくいだろうということでフェイスブックやツイッター等も駆使して対話を進め、経済人も大変刺激を受けました。

### —経済界から見た弁護士の役割は

一般の人は事故が起きなければ法律は関係ないという思いがどこにあるかもしれません。しかし、それぞれの法律には法律ができた背景や歴史的なものがあるはずで、それらの理解や経験に基づく知見が一般の人々、経済人にも欠けているかもしれない。だからこそ、弁護士さんの知見や経験は重要です。弁護士さんと経済人とでは見ているものや見る視点が違うはずで、経済界も弁護士さんとの交流をもっと深める必要がありますね。

### —弁護士・弁護士会への思いを

社会的な発言をもっと行って欲しい。文化芸術分野についても発言して欲しい。市民として「社会をこう考える」、「こう変えていきたい」と。

弁護士さんが増えるなら、だからこそ発言を増やして頂くことも必要では。

政治も役所も法律で動いているのだから、原理原則の重要さを弁護士がしっかり発言をして欲しい。

政治はムードで動くことがあり、経済もムードで動くことがある。政治と経済は期待と欲望で動き、制御できないことがある。そこで法律が感情論で動かないようにしていく必要がある。それゆえ、弁護士さんの役割は重要。弁護士さんのご経験から出る社会的な辛口の批評が必要とされていると思う。関西経済同友会など経済界との交流・意見交換も是非進めたいですね。

(Interviewer: 桂 充弘 / Photo: 武田)

# もつと社会的な発言を

